



▲みんなでの手話コーラスに感動

11月27日、オーエンス文化会館で「福祉ふれあいまつり」が開催され、市手話サークルあやの会が手話コーラスを披露しました。「四季の歌」などを来場者も一緒になって手話で「歌っている」姿に感動しました。同会は、長年のボランティア功労者として、昨年11月に厚生労働大臣から表彰されました。 【馬場 正勝】



▲小園自治会文化祭が開催されました

12月3日、小園自治会館で同自治会文化祭が開催されました。書道や手工芸、絵画などさまざまな分野の作品90点と小園の歴史のパネルが展示されました。入場者はじっくりと時間をかけて楽しんでいるようでした。地域の方がたくさん来場し、改めてつながりの強さを確認しました。 【高橋 元】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲餅つき大会で国際交流

12月3日、きらめき補助金交付事業の「日本語クラス『あやせ未来塾』」が吉岡東の工場で餅つき大会を開催しました。塾生など50人以上が参加し、つくたての餅を食べたり、ゲームをしたりして交流を深めていました。カンボジア出身のケアーターナーさんは「日本に来て15年になります」などと日本語であいさつし、日頃の学習の成果を披露しました。 【米山 徳治】



▲大人と子どもと一緒にトスポール

12月4日、寺尾小学校校庭でトスポール大会が開催されました。市少年野球連盟加盟の児童や保護者が参加し、大人と子どもと一緒にプレーするなど、和気あいあいとした雰囲気でした。吉岡サプリング理事の小泉幸彦さんは「トスポールの体験を通じて、野球をする人が増えてくれたらうれしいです」と話しました。 【高島 勝】



▲光綾公園を彩る紅葉

12月6日、光綾公園を紅葉が彩っていました。表側からの紅葉は色鮮やかで人目につきますが、上を向いて裏から眺める紅葉もまた、とても美しいです。 【馬場 正勝】



▲こどもクッキング教室

12月11日、中村自治会館で中村地区青少年健全育成会のこどもクッキング教室「油で揚げないコロック！とおにぎり！（災害の時にも対応・ポリ袋クッキング）」を開催し、57人が参加しました。参加者は災害時の食事の大切さに関する講話を聞いたり、新聞紙のスリッパを履いたりしました。調理実習では、ぶどうジュースなどで米を炊きました。 【情報提供：同会 榎本 源吉さん】



▲収穫祭と交流会が開催されました

12月4日、さがみ農協綾瀬集出荷場で「親子ふれあい農業体験」の収穫祭と、畜産協会による消費者交流会が開催されました。朝から農園で野菜を収穫した親子が、自分たちで育てた野菜を使った豚汁を食べ、市内産の豚肉でバーベキューをしました。親子や友達同士で「おいしい」などと話しながら、おなかいっぱい食べて楽しんだようでした。 【秋元 謙治】



▲旬の食材でおかず作り

12月10日、中央公民館で小学生料理教室Part 1が開催され、小学生14人が参加しました。食中毒防止の諸注意や、調理方法などの説明を受けた後、旬の食材でおかずを作りました。食材を切ったり炒めたり、最初はぎこちない手つきだった子どもたちも次第に慣れた様子で「家でも作ってみたい」などと話していました。 【福島 順一】



▲蓼川さわやかクラブのウォーキング

12月19日、同クラブが県立城ヶ島公園（三浦市三崎町城ヶ島）からウォーキングしました。同公園内の水仙ロード・ウミウ展望台や馬の背洞門、赤羽根海岸の景色を楽しみながら、歩きなれない岩場などを歩き、さらに城ヶ島灯台まで足を延ばしました。昼食は、三崎港（同市三崎）でまぐろの海鮮丼を食べて腹ごしらえしました。 【大滝 隆司】



▲ふれあいを楽しんだ、だがしや楽校

12月17日、オーエンス文化会館で公民館講座「だがしや楽校」が開催され、大勢の人でにぎわいました。折り紙工作やバルーンアート、おもちゃ作りなどの展示実演や、大正琴とアコーディオンの演奏体験もありました。特にシニア向け「若返りメイク」は好評でした。同楽校は、祭りの「屋台」のような形式で市民誰もが趣味や特技などを披露できる場の提供が目的です。 【福島 順一】